

SAJ

サバァイ通信

公益財団法人 School Aid Japan コミュニケーション誌
サバァイは「幸福」を意味するクメール語です

Vol.37

2021.9月号

里親様との オンライン交流！

ZOOMやSkypeでコミュニケーションを！



子どもたちも大喜び！

現在、孤児院では里親様と里子のZOOMやSkypeを用いたオンラインでの交流を行っています。里親様とたくさんおしゃべりが出来たと子どもたちは大喜びでした。コロナでカンボジアに行けず、子どもたちとの直接的な交流ができない状況ですが、オンラインであれば里親様とお時間があえばいつでも、どんな場所でも里子たちとつながることができます！オンライン交流をご希望の里親様はSAJ事務局までご連絡ください。

支援活動のご報告 (指定寄附別)

支援者様から頂いた寄附が、どのような活動に繋がっているのかご紹介いたします！

孤児院事業



職員研修

孤児院の職員向け講習を行いました。子どもたちへの接し方、褒め方、叱り方などを説明し、これからの子どもたちへの指導に役立てて、職員と一緒に、子どもたちの幸せを第一に考え、愛情を注いでいきたいと思ひます。



野菜を収穫！！

孤児院では現在トウモロコシやオクラなどの野菜を育てています。この作業を通じて、子どもたちには野菜を育てる難しさや、生命の尊さを学んでいってほしいと思ひます。



食の支援

朝給食支援

コロナの影響で朝給食が作れないため、貧しい子どもたちの家庭にお米(25kg)、油(2L)、魚の缶詰(1.7kg)を配布しました。



学校運営【NDMSC】

Narayankul Dream Model School & College について

バングラデシュでは、日本同様に、コロナ感染者が一日当たり1万強増え続けており、ロックダウンがいつまで続くのか未だに先が見えない状況であるため、今までと変わらずオンライン授業・訪問サポートを継続して実施しております。授業内容の復習として、定期考査を実施しました。原則オンラインでGoogleフォームを使用し実施し、インターネット環境がない生徒達に関しては学校の体育館で感染予防対策を行い、考査を実施しました。

孤児院卒園生の活躍

プノンペン事務所より

プノンペン事務所では、奨学生に学費や生活費を支払ったり、卒園生(OBOG会)の管理をしています。孤児院を卒園した子どもたちが、大学進学や就職など活躍の場を広げています!!そこで、感謝を込めて皆様にご報告していきたいと思ひます。



ソン・カンチャナー

バタンバン州のチェンラー看護士大学(助産師)卒業

年齢:23歳

現在やっていること:

膚科クリニックで働いています。

将来の夢:

自分のクリニックを作りたいです。



サェム・チャンソン

国立健康医科大(医療=看護士)卒業

年齢:24歳

現在やっていること:

私立クリニックで看護士の仕事と薬を売る仕事です。

将来の夢:

自分のクリニックを作りたいです。

2019年にバタンバン州のチェンラー看護士大学の助産師学科を卒業しました。今は、プノンペンの皮膚科クリニックで働いています。園を卒業して大学の生活が始まったら色々な初めてのことがありました。例えば、自分でご飯を炊いて料理を作り、病気になったら自分で病院に行くなどたくさんありました。お金の使い方も必要なものだけ買うなど節約していました。病院で実習した時患者さんの色々な問題を頑張って解決をしました。

今やっている仕事は自分の専門とあまり関係していませんが、すてきな仕事だと思います。いい経験を受けていい友だちも出来て特にクリニックの経営者さんがいい人です。



クリニックで働くカンチャナー(奥から2番目)

大学の勉強は7時から11時までと、13時から17時までです。基礎勉強と実験を行っています。学校以外は色々な国立病院で実習したりしました。そしていくつかの病気や農村地域の人々の生活について学ぶための地域社会への働きかけました。毎日いつも自習をしました。

今は、国立健康医科大の看護士(3年間)を卒業しました。

現在私立クリニックで看護士の仕事と薬を売る仕事をしています。

朝7時からお昼までと、2時から夜7時まで働いています。一週間に1回休みがあります。今やっている仕事が好きです。たくさんの経験をしています。



クリニックで働くチャンソン(一番右)

孤児院からの報告

オウ・ソクニエン(13歳) 入園

両親が離婚し、家のない母親と一緒に放浪生活をしていましたが、母親が再婚し、再婚相手からの暴力もあったため、警察に保護されました。短期で保護してくれる施設を経て、この園に来ることになりました。まだまだ集団生活に戸惑っている様子がありますが、これからは安心して暮らしてほしいと思ひます。



理事評議員会の報告

SAJは、すべての理事で構成され業務に関する決定を行う理事会と最高議決機関である評議員会が毎月開催されています。

《構成メンバー》

■代表理事: 渡邊美樹

■理事: 鳥井親一、清水和雄、武長彩子、高橋亮

■業務執行理事: 青木茂雄

■評議員: 大江光正、清水邦晃、鎌田厚司、矢野博文、戸澤昌夫、大城慶正、白柳直美

■監事: 片山進平、清野貴彦

第218回理事評議員会が2021年8月31日に開催されました。緊急事態宣言下により、オンラインでの開催となりました。

【決議事項】

議案1: 2021年度高校卒業試験、日本語能力試験が中止になった場合の奨学金貸与基準(案)について

【報告事項】

報告1: 孤児院報告 近況報告

報告2: プノンペン事務所報告

報告3: バングラデシュ報告

報告4: 会計報告

今後の予定

9月27日…理事評議員会

10月26日…理事評議員会

11月29日…理事評議員会

「80名の子供たちの幸せのためだけに運営する」という運営方針を掲げてカンボジアのポーサット州に孤児院を開園してから13年が経ちました。孤児院を卒園後、大学や専門学校に進学し、社会で活躍するOBOGも増えてきました。

孤児院から初めての大学合格となったスレイノイは、王立ポンペン大学日本語学科を卒業後、日本とカンボジアの懸け橋になりたいと、孤児院の職員としてSAJに戻ってきてくれました。そして来春、スレイノイは日本で働くこととなりました。

健康医科大学看護学科を卒業したヴォッティは、日系NGOジャパンハートが運営する医療センターで看護師として活躍しながら日本語も勉強しています。スレイノイやヴォッティのように、孤児院を卒園した子どもたちには、たくさんの「ありがとう」を集める幸せな人生を歩んで欲しいと願っています。

しかし、OBOGの全員が、順調な学生生活や社会人生活を営んでいるわけではありません。せっかく合格した大学を中退して妊娠・結婚して経済的に苦しい生活を余儀なくされているOG、せっかくよい職場に就職したにもかかわらず転職を繰り返すOBもい

ます。とはいえ、どのような状況であっても皆、私たちの『夢追う子どもたちの家』で育った家族です。なかなか連絡が取れなくなってしまったOBOGとなんとか連絡を取りたいと、この度OBOG会を発足しました。久しぶりに話すことができたOBOG全員が共通して言ったこと。それは「孤児院で、温かくて美味しいご飯を毎日食べ、安心して眠れ、毎日学校に通え、保母さんにはいろいろ相談にのってもらい、恵まれた環境で過ごせたことに心から感謝しています。支援者の皆様や、孤児院のスタッフや子どもたちにいつか恩返ししたい」という心からの感謝の言葉でした。

どのような状況であろうと感謝の心を忘れずにいてくれたことが、なによりも嬉しいです。里親の皆様、孤児院運営支援や奨学金支援をしていただいた支援者の皆様とともに、一つの大きな家族としての絆をこれからも大切にしていきたいと思えます。



日本を訪れた卒園生と代表理事



里親様募集!!

*「夢追う子どもたちの家」は、子どもたちの夢を育み、健全な成長を促進するとともに、将来、自身に備わった素晴らしい能力に気づき、それを伸ばし社会に貢献できる子どもたちを育成することを目標としています。

*里親の皆様から頂いた支援金は、子どもたちの食費・生活費等、使わせて頂きます。

現在、孤児院「夢追う子どもたちの家」では定員人数80名に向けて調査を進めています。コロナウイルスの影響で失業者も増えたことから、学校に通えない、食事・生活がともにできない子どもたちが増えています。里親になって“子どもたちを応援したい”“子どもたちの夢の伴走者になりたい”と思われる方は、SAJ事務局までご連絡ください。

ご支援いただいた寄附

2021年

7月の寄附金合計 4,370,139円

(内訳) 会員会費	1,901,700円
一般寄附	540,169円
指定寄附	1,928,270円

募金箱回収ありがとうございました

2021年7月募金箱回収

□鶏笑 神戸甲南店

●カリカチュア・ジャパン(株)

●ワタミ(株)

□ワタミの宅食 滋賀長浜営業所 □中京センター

□「炭旬」日立駅前店 □「坐・和民」横浜西口店

□「ミライザカ」東戸塚西口店ミライザカ □「海のめぐみ食堂」東戸塚店

募金箱回収して下さった方(順不同、敬称略) ※法人名、団体名は2021年4月現在のものです。募金箱の回収は、郵便局や銀行での振込みまたは、SAJ事務局へのご持参にて承ります。



これまでの実績

いただいた寄附金の累計額
(2001年度～2020年度)

32億
448万1,028円

現在、SAJの建設した学校で授業を受けている児童・生徒の人数
(2021年3月現在)

100,943人

SAJの建設した学校でお米を受け取った児童数の累計
(2006年度～2020年度)

12,312人

建設した学校の合計
(2001年度～2020年度)

318校

ふれあいサポートプランで文房具や制服を受け取った児童数の累計
(2003年度～2020年度)

16,346人

SAJの建設した学校で朝給食を支給された児童数の累計
(2006年度～2020年度)

125,879人

皆様からの会費・寄附は「1円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

会費

会員会費(年額) 1口 12,000円
法人会費(年額) 1口 120,000円

一般寄附

用途は指定しないで金額も自由な寄附

指定寄附 (使い道を指定する寄附)

●学校建設寄附(1) 一口寄附(一口100,000円)、(2) 一棟寄附 ●ふれあいサポートプラン(一口12,000円から)
●食の支援寄附(金額自由) ●孤児院運営寄附(金額自由) ●孤児院運営会費(12,000円/月)
●孤児院里親会費(12,000円/月) ●奨学金寄附(金額自由) ●学校運営寄附(パングラデシュ)(金額自由)

詳細はSAJ事務局までお問い合わせください。

インターネットでの寄附が、便利になりました。

SAJのホームページから寄附していただくことができます。寄附の種類も選べます。

<https://ssl.schoolaidjapan.or.jp/kifu/>

こちらから



会費・寄附金のお振込み

●郵便局: 00140-5-345903

●三井住友銀行: 蒲田支店(普) 4353626 口座名: 公益財団法人 School Aid Japan

※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。

※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先のご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

寄附金の優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。そのため、会費や寄附金は、税制上の優遇処置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。